

越谷市立大相模中学校

保育実習体験



第3学年

特色

- 本校3年生の生徒が、クラス6～7名の班編成で、近隣の保育園を訪問し、様々な年齢の園児と一緒に歌ったり、遊んだり、ゲームをして「ふれあい体験活動」を行っている。
- 生徒は自作の絵本を作成(物語も創作)し、園児に読み聞かせを行う。生徒たちは園児が喜ぶよう絵本の表現に様々な工夫をしている。

生徒の感想

- 交流を通して自分にもこういう時期があったことを知った。0歳児は言葉が通じなく大変だった。それに対し先生方はきちんと対応をしていた。きっと母も僕にこのようにしてくれたのだろうと思った。
- 幼児たちは自分の感情にとっても正直だ。興味がないとそっぽを向いてしまう。笑顔が苦手な私は笑顔の大切さを知った。

成果

- 園児の年齢によって発達や成長の様子が違うことが理解できた。成長の様子に応じた接し方があることを学び、交流する力を身に付けることができた。
- 園児に求められ触れ合いながら、頼りにされることを通して、思いやりや優しさ、慈しむ気持ちを持つことができた。